

令和元年度小・中学生向け夏休み企画 「みんなで考えよう！有罪？無罪？」

開催
報告

大阪高等・地方裁判所では、令和元年8月、小・中学生を対象とした模擬裁判・模擬評議が体験できるイベントを2回開催しました。

特に小学生の部については、定員40人を大幅に超えるお申込みをいただき、抽選の上、当選した方にご参加いただきました。

ここでは、イベント当日の様子やご参加いただいた方の感想をご紹介します。

①まず、DVDを観て、クイズに挑戦！

まずは、アニメのDVDで裁判所や裁判の仕組みについて学び、その後、〇×クイズに挑戦しました。



DVDを観て、裁判の仕組みが
わかった！



クイズで意外な
問題もあって、
とても驚いた。

②模擬裁判を体験したよ！

裁判官、裁判員、検察官、弁護士、証人の役になりきって、みんな見事に演じてくれました。



実際に体験して裁判が
身近に感じられた。

模擬裁判を体験し、又、議論をする
ことによって、裁判についての理解
を深めることができた。



場面ごとに説明
があってわかり
やすかった！

③ 模擬評議でみんなで話し合ったのじゃ。



グループに分かれての模擬評議。証拠や証言からみんなで一生懸命考えました。

さて、被告人は有罪？無罪？



自分の意見をたくさん言えて、嬉しかった♪

話し合いの時間が長く、違う視点から事件を見ることができた。

みんなで考えるのが難しかった。
自分の意見をしっかりと持っておかないといけないと思った。



④ 裁判官への質問コーナーだよ

裁判官への質問コーナーは大人気！次々と手が挙がりました。
するどい質問に裁判官もびっくり！？



疑問に思ったことを聞けた。

裁判官がひとつひとつ丁寧に教えてくれた。

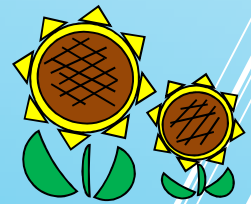


⑤ 法廷見学

裁判官の法服を着て記念撮影も！
わからないことを裁判官に質問しよっと♪



色々な席に座れてうれしかった。



保護者の皆様からは、
「子どもが普段経験することができないことを通じて、色々思うことができたと思う。」
「子どもが積極的に意見を言っているのを見て、嬉しかった。」
「模擬裁判後に、その内容について色々話し合い、深く考えることができてよかった。」といったご感想もいただきました。

今回のイベントを通じて、裁判所を身近に感じていただけたらうれしく思います。
ご応募・ご参加いただいた小中学生、保護者の皆様、ありがとうございました。